

## ご挨拶

本日は、年度末のご多用の中、京都大学大学院教育学研究科 教育実践コラボレーション・センター主催、2014年度 E.FORUM 全国スクールリーダー育成研修 教師力アップ研修シンポジウム「探究力をどう育成するか」にご参集いただき、まことにありがとうございます。

以下、書面をもってご挨拶と御礼のことばに代えさせていただきます。

E.FORUM の「E.」は「教育 (education)」の略、「FORUM」は古代ローマ時代に遡る「広場」を意味する言葉であり、多くの人が集まって、教育の意味やそのあり方についての情報や見解を交換し共有しあう場を作り出すことが、わたしたちも京大 E.FORUM の目指してきたことです。本日も、この広場で、ご出席の皆様方が探しているものが見つかることを切に願っております。

「探究力」という文部科学省・中央教育審議会由来の言葉については、先刻よくご承知の先生方も多いことと存じます。

これからの社会と学校に期待される役割として、「グローバル化や情報通信技術の進展、少子高齢化など社会の急激な変化に伴い、高度化、複雑化する諸課題への対応が必要となっており、多様なベクトルが同時に存在・交錯する、変化が激しく先行きが不透明な社会に移行しつつある中で、幅広い知識と柔軟な思考力に基づいて、知識を活用し、付加価値を生み、イノベーションや新たな社会を創造していく人材や、国際的視野を持ち、個人や社会の多様性を尊重しつつ、他者と協働して課題解決を行う人材が求められており、これに伴い、21 世紀を生き抜くための力を育成するため、これからの学校は、基礎的・基本的な知識・技能の習得に加え、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成や学習意欲の向上、多様な人間関係を結んでいく力や習慣の育成等を重視する必要がある」とされます。

「探究力」の内容については、まだまだ検討すべき事項が多いと思いますが、それは今日のシンポジウムの中心テーマです。また、京大が次年度から導入する特色入試は、この「探究力」を測るための新たな試験をめざしたものとも言えます。なお、教育学部の特色入試については、明日、高校生向けの説明会を開催いたします。

本シンポジウムは、

- ・伊勢田哲治・本学大学院文学研究科准教授
- ・山本吉次・金沢大学人間社会学域学校教育学類附属高等学校主幹教諭
- ・西岡加名恵・本研究科准教授

という豪華メンバーでお送りします。

シンポジストをお引き受けいただいた先生方に、ここに、心より厚く御礼申し上げます。

また、本日お集まりいただいた **E.FORUM** 会員の方々を含むご出席の皆様方に、あらためてもう一度御礼を申し上げます。

有意義な一日になることを願っています。

子安 増生（京都大学大学院教育学研究科長）

代読：石井 英真